

伯耆町教育支援センター「えがお」

伯耆町教育支援センター「えがお」では、小・中学校への不登校や不登校傾向にある児童生徒が通所し、学習やスポーツ活動などを行っています。

学習支援を行う指導員1名と、教育相談などにあたる相談員3名(交替)が勤務しています。学校から準備された教材を使って学習したり、体育館でスポーツ活動を

行ったりしています。

また、不登校やいじめ、友人関係、子育てなどについて悩んだとき、小中学生や保護者のみなさんからの相談もお受けしています。相談員が相談者のプライバシーにも配慮して対応しますので、お気軽にご相談ください。

学習支援内容

- 開設日 学校の課業日に準じます。(祝祭日、長期休業中は休館します。)
- 時間 開所 9:00~16:30
通所 10:00~15:00

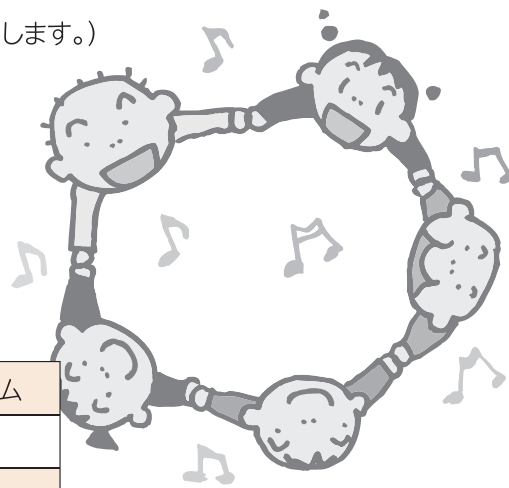
○主な活動

- ・個別学習(学校からのプリントなどを使い、個々のペースで学習)
- ・体験活動(スポーツ、料理、創作活動、栽培活動など)
- ・校外学習(必要に応じて計画実施)

○生活時間

10:00~11:00	朝の読書、朝の会、フリータイム
11:00~12:30	個別学習、体験活動
12:30~13:30	昼食(弁当)・休憩
13:30~14:30	個別学習、体験活動
14:30~15:00	帰りの会、放課

※個々の実態に合わせて活動します。



いじめ・不登校・児童虐待などについての電話相談窓口

伯耆町教育支援センター『えがお』

受付時間 平日 9:30~16:30
電話 62-1490
〒689-4202 伯耆町長山275番地(伯耆町民溝口体育館内)

小・中学生のみなさんへ

ともだちから「いじめ」をうけて、がっこうにいきたくない。いいで、きつくしかられてつらいことがある。でもせんせいにはいえない…。だれにそうだんしていいかわからない…。

もし、こんななやみがあったら、一人でなやまずに、わたしたちにでんわしてください。みなさんのおはなしをきいて、どうしたらいいかいっしょにかんがえます。そうだんないよのひみつはまもります。

保護者のみなさんへ

いじめについて悩んだとき、子育てについて悩んだとき、不登校で悩んだとき、身近で児童への虐待を見つけたときなどのための相談窓口です。相談員が、相談者のプライバシーにも配慮して対応いたしますので、お気軽にご相談ください。来所での相談もお受けしていますので、気軽にお立ち寄りください。

「えがお」では、次のような学習支援を行っています。

伯耆町では、そうした問題に添えていくため、町民溝口体育館内に、伯耆町教育支援センター「えがお」を開設しました。

昨今、いじめを苦にした児童生徒の自殺が全国で相次いで発生し、大きな社会問題となつています。児童生徒が自らの命を絶つということは、理由の如何を問わずあつてはならないことです。児童虐待やいじめ、不登校といった問題の背景として、近年の核家族化、少子化、地域における地縁的つながりの希薄化などにより、親の子育てに対する負担感や不安感といった育児に関する悩みや、子どもたちの孤立感などが指摘されています。

ストップ!いじめ!

地域で子どもを守り育てよう

